

令和6年度 第1回みんなで支える森林づくり長野地域会議 意見等概要
(■説明事項 ○意見等)

◎現地視察及び映像による取組の説明

※以下室内にて

■会議の設置について (設置要綱、開催予定について説明)

○特になし

■林務部施策について(施策概要により説明)

○特になし

■みんなで支える森林づくりレポートについて (全県の取組み)

○特になし

■長野地域振興局管内 令和5年度実績及び令和6年度の計画について

◇各市町村より市町村森林整備支援事業の取組内容を説明

○防災・減災のための里山整備について、これらを活用した事業によってどれほど森林が良くなったか、豊かになったかわかるとよい。

▶行政として効果のPRが不得意なところ。先般イベントもあったが、そのようなものや、SNS等活用するなどしていきたい。また良いPR方法などあれば教えてほしい。

○市町村森林整備支援事業については選択型の補助事業になったことで、市町村のハードルが少し上がったと感じている。手続き等もう少し簡単になると良い。

▶令和5年度より市町村森林整備推進支援金となったところ。使途を明確にしながら市町村が使いやすくするため、このような補助体系になってきたが結果的に難易度を上げてしまっているかもしれない。例えば交付金のようなものにするなどより使いやすい方法となるよう本庁に要望していく。

○防災・減災の里山の事業について、計画に対して実績が進まない状況が見られる。小規模条件の悪い場所の森林整備については現況の事業では進まないのではないかと。県としてもっと進めるための方法についてなにか考えているのか。単価や現場条件により補助金は高くなるべき。

▶森林整備については所有者が不明な森林や協定等が手間になり、事業進んでいないところもある。同事業を推進するためにこうするということは検討されていない状況といえる。単価については御意見としてそのような意見があったことを伝えさせていただく。

○学校周辺の森林・樹木について、市街の学校では特に危険な状況と感じている。今ある学校林等の整備事業などではとても解消できないと思う。市町村も本気で考えていただき、公共的な事業も必要と思う。

今ある事業で細々と対応していくにしても、地域によってはこの事業があることを学校が承知していなかったりする。事業（学びと育ち）の周知も必要と思う。

▶ライフラインという事業があるし、森林以外の枯損木の伐採ができる事業がある状況。学校の樹木についても事業対象として実施できるのではないかと思うところがあるので意見として伺い事業拡充できればと思う。

既存事業のPR方法についても検討していきたい。

事業によっては予算や会計処理が必要なので学校ではそれが課題になっており、事業が実施しにくい場合もある。

■里山の整備・利活用について

◇管内の取組み状況を説明

○里山整備関係の事業に取り組んでいる。元々は市の事業を活用していたが、事業が廃止になったため活動を休止していた。当該事業ができたため活動が継続できている。大変ありがたい状況である。しかし、今後県内へこのような事業を広めていくなら、もう少し補助金が増加する（枠が増える）と良いと思う。

▶そのような意見を聞くのもこの会議の目的と思う。

里山整備については各地域の取組みについては管内でも様々な活動に取り組んでいるところなので概要を説明したい。（協議会の設置状況や各地域の取組みの概要を説明）

このような会議の機会を通じて各地域の情報交換が行える場としていきたいと考えているところ。

■開かれた里山の認定地区について

○今年度に関開かれた里山整備事業として認定された富が原地区について、計画書に記載のある、生物多様性に配慮するとは具体的にどのようなことを進めていくことなのか。

（書面にて認定いただいた際に質問のあった内容）

▶近くのアファンの森ではツルなどに覆われて在来種が被圧されてしまう状況に、手入れをして植生を回復する取り組みを実施してきた。この地域でもそれを見習って在来種の復活や保存を目指していく。県の補助事業や活用した森林整備やメンバーによる手入れにより、豊かな自然を復活させていく活動をする。（実施主体）

○このような活動が地域みなさんに根付き、自ら管理していく気持ちを持てる環境になることが大切と思う。さらなる活動の広がり期待したい。

▶地域住民の高齢化も課題もあり、昔のように地域の活動もうまくいかない場合もあるように思う。このような事業により地域活動につながればよいと考える。

■その他

○森林整備の担い手である林業従事者の状況についてお話をお願いしたい。

▶今年度については就職希望者が数人おり採用している。事務職は若干不足ぎみだが、現場で林業をやりたいという方は希望がある傾向。長野市の制度もあり大変助かっている状況。森林整備は頑張っていくが地域の材料がもう少し活用されることを期待したい。

▶長野地域では市の制度もあり、従事者が増加している状況があるところ。

▶森林環境譲与税等の活用などにより地域材活用が広がればと考えている。

◎今後の予定、振興局林務課の公共事業や行事等説明して終了

【会議の状況】



「開かれた里山」地域の説明



会議の様子